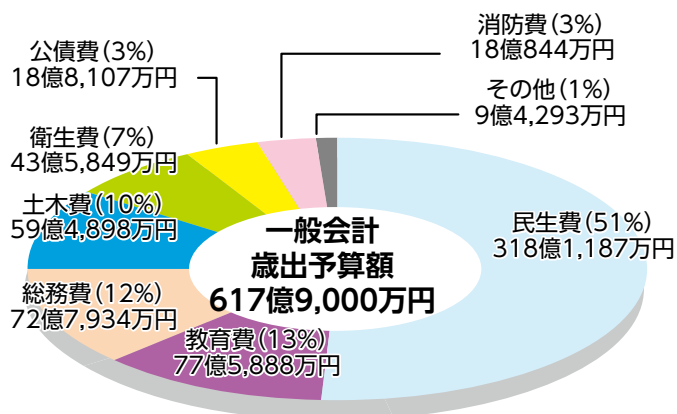


令和6年度 予算を可決

令和6年度の多摩市の予算(お金の使い方)について、予算決算特別委員会(議長を除く全員で構成)で審査を行い、一般会計、3特別会計、下水道事業会計の予算案を原案のとおり可決すべきものとなりました。

令和6年度 歳出款別 予算額



令和6年度 一般会計・特別会計 予算額(前年度比増減)

特別会計	一般会計	617億9,000万円	(5.2%)
	国民健康保険	154億2,218万円	(▲0.1%)
	介護保険	124億8,529万円	(0.6%)
	後期高齢者医療	49億7,114万円	(7.9%)
合計		946億6,862万円	(3.8%)

令和6年度 下水道事業会計 予算額(前年度比増減)

	収入	支出
収益的収支	33億5,766万円 (▲2.1%)	29億7,725万円 (▲4.2%)
資本的収支	1億1,040万円 (▲21.7%)	6億4,958万円 (52.8%)

※各会計で千円単位を四捨五入し、端数調整しています。

予算審査ではこんな話題や意見がありました…

平和の尊さを次の世代に伝えていこう

ロシアによるウクライナへの侵攻やイスラエルとパレスチナ問題などが起きている今、平和についての学びの時間は重要です。多摩市では戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代に伝える取組みとして「子ども被爆地派遣授業」「平和展」を行っています。

特に本年度の取組みについて質疑があり、現在、歴代派遣員によるワークショップにて、平和展の企画につなげるアイデア出しが行われているとの答弁がありました。

(総務費 平和啓発事業)

子どもが相談しやすい環境づくりを

子どもの権利に関する講演会の開催、子ども食堂運営団体への補助などの事業を引き続き実施していきます。

新たな取組みとして、子どもの権利や相談機関を周知するためのリーフレットを作成します。

現在、配布されているこどもSOSカードやcocoroカードの成果や他の自治体を参考にしながら、子どもたちにとって相談のしやすい環境を整備して対応してほしいとの意見がありました。

(総務費 子ども若者育成支援事業)

在宅子育て家庭の孤立防止や育児不安を解消

保護者が就労していなくても子どもを保育園・幼稚園に預けられる新たな取組みを試行的に実施します。国と都の補助を活用し、保育園・幼稚園の空き定員枠を利用して、生後6ヶ月から3歳未満までの子どもが対象となります。

子どもを預けることで保護者がリフレッシュできる環境づくりを期待すると同時に、保育施設での保育士人員の配置や安全対策も合わせて対応してほしいとの意見がありました。

(民生費 こども誰でも通園事業)

要配慮者を守る防災計画を

2名の議員から質問がありました。ハザードマップの配布方法と内容についての確認、特に法令改正によって掲載情報が追加されたこと、及び活用のしかたについて質疑が交わされました。

また地域防災計画の見直し、要支援者に向けた個別避難計画に関する質問には、介護関係の所管から進捗内容の説明がありました。乗り合い避難、広報誌の作成委託、在宅避難に向けた取組み、防災意識の啓発や日常的な関係づくり等、多岐にわたる質問が続き、自助努力のみならず公助の必要性についても言及がありました。

(消防費 災害対策経費)

ピアティーチャー予算増加について

ピアティーチャーの人数を増加した理由や人材を継続的に確保していく方法についての質疑に対し、令和5年度の実績を踏まえ、また新たに別教室への支援員を配置することによる人員増であること、人材の確保策については、採用要件を大学・短大卒から高校卒も含めるなど見直しを行ったとの答弁がありました。

(教育費 教育指導経費)

